



○写真上……木製の除草機
(町へ寄贈されもの)。
除草剤(農薬)が普及する
昭30年頃まで、どこの農家
でも普通に使われていた。

○写真右……稲をまたいで除
草機の隙間に稲を挟むよう
に押していくと草が取れる
が、注意深く稲を見てない
となかなかうまく進めない。
女の子たちは逆に稲を抜き
そうになったり、突然大き
なバツが飛び出してきた
りと大さわぎ。



～つるに農事だより～ 田んぼの除草(草取り)



△大玉で見るからに美味しそうなサクランボ

学校給食に鶴田産サクランボ
七月二日(水)、鶴田町学校給
食共同調理所へ、鶴田町おうとう
栽培研究会の皆さんが丹精込めて

草取りを行いました。
なお、次回の農作業体験は
案山子づくりの予定です。

**田んぼの学校で昔ながらの
草取り作業を体験**
今年町では、廻堰地区の水田
(須藤喜興一さん所有)をお借り
して、「水辺環境体験学習・田ん
ぼの学校」を開設しています。こ
れは、子どもたちに農作業体験を
通して、自然豊かな水環境の基礎
となる水と土の在り方を学んでも
らうための事業です。
七月二十六日(土)、二回目の
農作業体験として、サンシャイン
スクール富士見の児童たちが、昔
の農具を使って草取り作業を行
いました。子どもたちは、田植え作
業の時にはいなかったカエルやバ
ツタと格闘しながらも、最後まで
草取りを元気に行いました。



△普及指導室職員からは、モモの薬剤散布はリンゴ
と区別するよう指導があった。

栽培したサクランボ二十五キロが届
けられました。翌日の学校給食で、
甘く大粒のサクランボが配られる
と、子どもたちは大喜び、鶴田な
らではの給食となりました。

**鶴田町桃栽培組合
現地講習会を開催**
七月三十日(水)、鶴田町桃栽
培組合(下山勝明会長)が、横滝
地区モモ園地(鈴木清司さん所有)
にて現地講習会を開催しました。
これから収穫期を迎えるモモ
(白桃)について、農業普及指導
室の職員から栽培に関する説明の
後、農薬散布や着色管理などの指
導があり、参加者は熱心に耳を傾
けていました。会長の下山さんは、
「当町の主力品種は、中生大玉種
の「あかつき」と晩生大玉種「川
中島」という品種。味に関しては
折り紙付きなので、ぜひうまく栽
培して鶴田に定着させたい」と意
気込みを語ってくれました。

栽培したサクランボ二十五キロが届
けられました。翌日の学校給食で、
甘く大粒のサクランボが配られる
と、子どもたちは大喜び、鶴田な
らではの給食となりました。

<p>急募! 青果・林檎移出 株式会社 諏訪商会</p>		<p>TEL (0172) 75-5770 〒038-3802 青森県南津軽郡藤崎町藤崎字西若松37-1</p>	
<p>事務員 財務・・・1名 営業事務・・・2名 《新卒可》</p>		<p>りんご詰め作業員 15名</p>	
<p>●勤務時間 AM8:00～PM5:10まで(残業あり) ●月給(委細面談時) 137,500円～200,000円 ●資格(面接時パソコン実技あり) 普通自動車免許 パソコン技能2級程度・簿記2級以上の方は優遇 ●休日 毎週日曜 他</p>		<p>●勤務時間 AM8:00～PM5:10まで(残業あり20分位) ●日給 5,200円～6,000円(りんご荷造り作業経験者優遇) ●休日 毎週日曜 他 ●期間 平成21年7月末頃まで(若干延長あり)</p>	
<p>社会保険・厚生年金・雇用労災保険完備・退職金制度あり</p>		<p>社会保険・厚生年金・雇用労災保険完備</p>	